

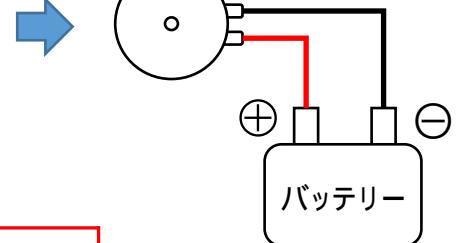
# ホーン不吹鳴チェックシート(アルファー ホーンなど)

配線を延長している場合、接続部の接触不良が原因となる場合が多くあります。特に注意して確認ください。

**ホーンが鳴らない**

ホーンの端子に配線を接続し、バッテリーの端子(+、-)へそれぞれ接触させ、ホーンが鳴るか確認してください。  
(ホーンの端子に極性はありません)  
配線を接触させた瞬間、ホーンが吹鳴しますので、注意してください。

接続イメージ



**ホーン単体で鳴る**

車両側のホーンヒューズは切れていませんか。

**ホーン単体で鳴らない**

何らかの原因でホーンが故障していると思われます。

**ヒューズは切れていない**

ホーンの接続方法に問題があると思われます。  
純正ホーンの端子数を確認してください。

**ヒューズが切れている**

ヒューズを交換してください。  
またヒューズが切れた原因を確認してください。(配線被膜の切れなど)  
ヒューズを交換しても鳴らない場合は、左記へ進んでください。

**純正ホーンが2つの場合**

車両側配線の接続状態に問題がないか確認し、吹鳴確認してください。

**純正ホーンが1つの場合**

車両側の容量不足が懸念されます。  
リレーハーネスの使用を推奨します。  
ホーンハーネスを使用している場合  
SZ-1027 / 1133使用時の不吹鳴チェックシートを確認してください。

**ホーンが鳴らない**

アース線をボディーアース(車体)へ接続している場合は、接続位置を(バッテリーのマイナス端子など)変更し、吹鳴確認してください。

**ホーンが鳴るようになった**

**対応終了**  
配線が他の機器と絡まないよう整理して固定してください。

**まだホーンが鳴らない**

純正ホーンの端子数確認以降を再度確認してください。

**ホーンが鳴るようになった**

**対応終了**  
配線が他の機器と絡まないよう整理して固定してください。